

2020年度 NPO 法人ブリッジフォースマイル 事業方針

1、基本方針

2020 キーワード <変化への準備> <人材の確保、育成> <財政基盤の強化>

近年、自立支援、退所後支援だけでなく、社会的養護を取り巻く環境が大きく変化しています。当団体も、変化に合わせて、支援対象や支援内容を検討していかなければなりません。目の前にいる子どもたちのためにできることを精一杯しつつ、全体を俯瞰して未来を見据えた準備もしていきたいと考えています。

また、引き続き取り組みたいことは、活動を支える人材の育成です。広がる事業を支えるのは、やはり人材です。

スタッフ、ボランティアを問わず、ビジョンや組織文化を理解し、責任と権限を持った人材がどのプロジェクトにおいても活躍できるよう、人材の発掘、研修や実践機会の提供、権限移譲などを進めます。

さらに、拡大する活動に対して活動資金が足りず、赤字決算が続いてしまっています。安定した収入を確保するため、広報、ファンドレイジング活動も強化してまいります。

2、トピックス

■新型コロナに係る緊急支援プロジェクト

4月7日の緊急事態宣言を受け、これまで積み重ねてきた社会的養護経験者とのつながりを活かすべく、4月9日よりアトメルに繋がっている方へ向けて生活に必要な情報を届けたり、お米を発送したり、という支援を開始しました。4月28日からは大体的に寄付を募り、アトメルへ繋がっている方へ集まった寄付金から家賃補助を行うという支援も開始、5月9日には関東1都3県および佐賀県と熊本県の児童養護施設等へ家賃補助のご案内を広げ、5月24日時点で45施設66名からの申請を受けている状況です。複数の施設職員から「スピーディーかつ柔軟に対応いただけて本当に助かっている」という声もいただいています。

■新しい寄付仲介サービス「トドクン」

物品の寄付仲介を子どもたちのプログラム参加動機付けと関連づける仕組みをシステム化するため、昨年度クラウドファンディングを実施しました。その資金を活用し、システム開発を委託する株式会社 Sun Asterisk のご支援の下、事業拡大と業務効率化の実現を目指します。

サービスは、プログラムに参加した子どもに寄付者からのプレゼントを届けることから「トドクン」と命名。トドをモチーフにした親しみやすいキャラクターがプレゼントを届ける設定にしました。

2020年秋の運営開始を目指し、まずは巣立ちプロジェクトに参加する施設と子どもたちから活用を促していきます。

■広報・ファンドレイジング強化

「社会的養護の下にある子どもの認知拡大」と「子どもたちのために応援を集める」という目的を達成するため、団体を認知向上させる施策を計画実行していきます。8年ぶりのHPリニューアルを機に、いま求められている情報、伝えるべき情報、今後変化していく団体としての役割を踏まえた見せ方を検討して形にします。組織基盤強化の助成金が決定し、個人寄付強化のための資金調達もできました。これまでプロジェクトごとの募集活動が多く、組織への寄付募集は積極的にできていませんでした。個人寄付が安定基盤と言えるまでには程遠いため、賛助会員（継続寄付）を増やすためのPRキャンペーンを実施し団体をあげて取り組みます。